



さくくらら

SA KU RA



Sept. 2019

発行／ボーイスカウト世田谷第5団広報部

ビーバー隊

8月4日 こま作り

ビーバー隊副長 保科哲也

回った回った！スカウトから声が上がります。外はうだるような暑さでも、九品仏地区会館会議室は快適です。本日は山根ローバースカウトと保護者、保科での集会です。まずは5円玉を使ったコマです。5円玉と後、材料は何が必要か、スカウトに考えてもらいます。コインの穴を通すつまようじ、穴をふさぐものが必要とわかりました。練り消しゴムで穴をふさいで、つまようじを中心に通して各自まわしてみます。スカウトの5円玉コマがうまく回らないので原因を探します。ようじの長さを短くして改善しました。全員で長く回す競争です。山根ローバースカウトのコマが1分近く回って他を圧倒しました。山根さんに要因を解

説してもらいます。コマの中心をしっかりと見つけて、重心を低く作ることが重要だと手に取って説明してもらいます。次に、ボール紙に印刷した色型紙を木工ボンドで貼り付けてはさみで切り、千枚通しを使って中心につまようじより小さな穴を開け、つまようじを垂直に通す。同じ手順で、うずまきコマと色が変わるコマの予想と観察をしました。途中の休憩では、山根さんに大学の話や、就職試験とボーイスカウトについての話をしてもらいました。保護者が熱心に聞いていました。全員で片づけをして隣の公園で少し遊びました。山根さんご協力ありがとうございました。

8月18日 ちちんぶいぶい秩父訪問



ビーバー隊隊長 草島隆行

今年は秩父鉄道SLパレオエクスプレス号乗車をメインに鉄分多めの企画としてみました。スカウト2名とそれぞれ保護者も参加していただき、いつもより早く7時半に自由が丘を出発です。まずは東武線直通の一番先、小川町まで移動し、さらに寄居行きワンマンカーに乗り換えます。普段よく使う東横線が特急で1時間半も先の埼玉北部まで通じていることを実感します。寄居駅でトイレ休憩を済ませ、まずは長瀨に向かいます。最近の秩父プームを受け、意外と若い女子がいっぱいいます。

長瀨はプラタモリで知った知識ですが、昔は海底だったところが隆起してできた地形とのことで、超巨大な岩が川辺にあります。残念ながら時間の関係でできませんでしたが、長瀨川下り以外に、子供向けにゴムボート企画もあり、流れが緩やかなところで川に飛び込むイベントもやっていました。周辺を軽く散策した後には、せっかく海底から隆起した岩なので化石を探してみました。

1時間ほど散策した後、SLに乗車です。普段見ないSLに予想外にスカウトではなく大人の方が大興奮。そのままSLに乗車して終点の三峰口に向かいます。三峰口でお弁当を食べ、転車台での蒸気機関車のターンを見ました。転車台も初めてですが、運転席で石炭をくべている様子も間近にみる事ができました。その後御花畑駅まで再びパレオエクスプレス号に乗り、西武特急出発までの一時間、母子での自由時間としました。私も一緒に名物のソフトクリームを食べ、池袋経由で戻ってきました。

今回、ハイク的な企画ではなく、鉄道企画としましたが、二人のスカウトがあまり鉄道オタクではなかったため、ただ電車に乗って移動する企画となった部分も出てしまいました。二人の場合、どちらか片方が好きなことなら成立しますが、どちらもあまり興味がないものは難しいことが反省です。。



カブ隊 8月3～5日 夏季舎営@入笠山

企画担当副長 青木由美

今年は南アルプス(赤石山脈北端)にある入笠山での舎営。

この場所は2000メートル級の山、沢や湿原、四季折々の花が見られる、自然豊かな場所です。宿舎は1800メートルのところがありますが、一気にゴンドラで上がることができ、涼しいこの場所はまさにカブスカウトの舎営には最高の環境でした。

1日目は現地に早めの到着。周辺散策をしてから工作に取り掛かります。今年は肝試しに使用するランタンを作成しました。ナイトハイクは少し雨にも会いましたが、星空も観察出来、山の天気も含め、自然を身近に感じる事となりました。

2日目はテイ沢や大阿原湿原ハイクと入笠山登山。長い行程でしたが、牧場などがある、なだらかな道をゆっくり歩いて行きました。途中の沢では水遊び！冷たい沢の水を楽しむスカウトたちでした。登山は残りの200メートルを登るだけですが、長いハイクのあとなので

さすがのスカウトたちも頑張るといった感じでした。しかし頂上は360度の大パノラマ！素晴らしい眺望なのです。そのおかげか下山するスカウトは元気いっぱい！宿舎についたら、おやつを食べてお昼寝だったけれど、まだ力が余っているようでした。

夜一番人気のプログラム、肝試しはランタンを持って出発。怖いけれど、やはり楽しかったようです。

3日目。宿舎所有のキャンプ場でのプログラムはまず木こり体験。チェーンソーで木を切り倒してくれるのを見たり、ロープで引き倒してその手伝いをしたり。ノコギリまで使わせてもらうことができました。続いて森のオリンピックでは広々とした雑木林で、思いっきり身体を動かし、そして焚火を体験しつつ、焼いたカンガルトースト、続くラリーでは頭も使い、多めに盛り上げました。この日は営火もありスタンプも披露したスカウト。盛りだくさんの1日を本当に頑張りました。



最終日は、じっくり、草花を観察してスケッチ。静かなひと時を過ごしたのです。
 今年はスカウト約28名と大所帯。1学級分の人数です。その中で組長や次長はとても大変だったと思います。長としての振る舞いを求められるからです。更に小さいながらも人間関係があり、もうどんな振る舞いが正解かわからなくなってしまったかもしれません。何もなくても成長はしますが、お互いが刺激を与えあう、混沌とした時間が大きな成長に繋がると思います。みんなそれぞれ、楽しい思い出を持ち帰ってくれたら、また次の活動を待ち遠しく思ってくれたら、とても嬉しいです。



1組 DL 大西 美由紀

初めての夏季舎営で緊張しましたが、子ども達と一緒にいろいろな事をして貴重な体験が出来ました。心配していたスタントも、皆楽しく練習してくれて3泊4日を通して仲間意識も強くなり、充実した4日間でした。



3組 DL 河津 若来

大きいザックを前後に背負い、山道を歩いて山彦荘にたどり着くまでは、どうなることかと自信がありませんでしたが、素晴らしい景色と美味しい空気、真っ青で広い空に囲まれて、気持ちよく過ごすことができました。毎日バラエティーに富んだプログラムが続き、あっという間の3泊4日でした。
 スカウトのみんなと一緒に、いろんな初めてを体験することが出来て、私もとても楽しかったです！夜の山道を歩いたり、木を切り倒すのを見せてもらったり、カンガルートストを作ったり、営火でみんなで歌ったり、どれもカブスカウトでなくては経験出来ない貴重な体験でした。営火のあとで見えた星空もすごくきれいでした。
 舎営が進むにつれ、くま、しか、うさぎ、それぞれにだんだんと自覚が出てきて、自分の役割を果たそうと努力し、協力している姿を見て、感動しました。



4組 DL 渋谷 真紀子

4組のDLとして初めて夏季舎営に参加させていただきました。3泊4日の滞在中には星空をみたり、ラリーやキャンプファイヤーなど盛りだくさんの体験をしましたが、中でも忘れられないのは入笠山登頂ハイクです。「もののけ姫」を思わせるような溪流沿いの道を歩き、崖のような斜面をのぼり、「もう無理～」と言いながらも一人も欠けることなく全員で山頂にたどり着けた時の感動は忘れられません。
 子どもたちが日に日にたくましくなり、心身共に大きく成長していく姿をみる事が出来た4日間でした。スカウト同士の関わりも深まり、今後の活動がますます楽しみです。
 貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました！



1組 くま

僕は、舎営が始まる時、とても心配でした。なぜかというみんなをまとまられるかなと思っていました。でも、しっかりまとめるぞという気持ちを持って集合時間などを守って行動してみたら、できたのでよかったと僕の中では思います。
 くまのテントでは、寒かったし、地面の石がゴツゴツしていて痛かったです。
 スタントでは、1位をとるぞという気持ちで、みんなで頑張ってもらいました。1位をとってうれしかったです。
 ナイトハイクでは、星がいっぱいあってキレイでした。次の活動でも時間を守ったり荷物をまとめたりしっかりやっていきたいです。



1組 くま

今回は途中で帰ることになり、キャンプファイヤーに参加できなくて残念だった。だけど、テントをはったりテントで寝たりしたのが楽しかった。きもだめしもたのしかった。

1組 しか

いろんなことをして楽しかったです。一番楽しかったのはきもだめしです。またやりたいです。でも、疲れました。



1組 うさぎ

カンガルートストはキャンプにいいし、次キャンプに行くときにやろうと思った。
 にゅうかさやまの山のぼりは、いままでのつかれとは

ちがうかんじで、スタンプは、せりふはいえなくてやさしかったけど、1位とってすこしうれしくなったりした。たのしいことだらけだった。

2組 くま

楽しかった事は木こり体験です。木をチェーンソーで切るところを見たり、ノコギリで木を切ったり、ロープで引っ張って倒したりしました。「組で協力しトライする」を目標にがんばり、組では最優秀組章、個人では優秀スカウト章も取れ、充実したカブ隊最後の夏季舎営になりました。

2組 くま

みんな上手く動けて、あんまり疲れなかったし、それにちゃんと時間通りに素早く動けたり、持ち物を忘れなかったりして、とても良かったと思います。あとは、自分のことはみんなと上手くついていけなかったから、次のカブとか、他のカブでも一生懸命頑張ろうと思います。一番楽しかったことは、きもだめしと山登りやカンガルートーストです。

2組 しか

今年の夏季舎営は去年よりも楽しかったです。特に楽しかったのがきもだめしです。暗い中を歩くのは最初ドキドキしましたが、そのうち前が詰まってきて、気がつくとなんか怖くなくなりました。そして最終日、まさか2組が優勝するとは思わなかったです。また来年の舎営が楽しみです。

2組 しか

夏季舎営で楽しかったことは、きもだめしと営火です。きもだめしは始まってすぐに化け物が現れてびっくりしました。営火はスタンプがうまく出来て、結果は2位だったけれど、セリフが上手に言えて成功して楽しかったです。

2組 うさぎ

思った通り、楽しいしゃえいになりました。そして、みんな入笠山ラリーや生活面でのとく点がせっせんで面白かったです。山登りがとくに楽しかったです。根っこや石がいっぱいありながらも登って、ちょう上でははずしくて、やったかいがあったなと実感しました。

3組 くま

夏季舎営で1番楽しかった事は、テントです。テント設営では、いろいろなことを教えてもらって、夜は1



番よく寝れました。次に面白かった事は、CPラリーです。超能力で、マークを透視するものが、すごく難しかったけど、当てる事ができてよかったです。3番目に面白かった事は、ナイトハイクです。暗闇の中に星がたくさん出ていて、すごくきれいだったです。大変だったのは、なかなか組をまとめられなかったことです。DLにもお世話になりありがとうございました。最優秀組章を取れるよう引き続き頑張りたいと思います。

3組 くま

転んだり、物をなくしそうになったりもしたけど、ランタンやカンガルートーストが上手くできてよかったです。

3組 しか

カンガルートーストをみんなで焼いた事がとても楽しかったです。またゴンドラに乗った事も景色がとてもきれいで、思い出になりました。夜の肝試しは、怖かったです。でもランタンがあったので、良かったです。夜の星がとても綺麗で、東京では見れない星だったので、感動しました。カレーライスを食べたお腹がいっぱいになった事も良い思い出です！

また行きたいです！

【7/7 室内プログラム 感想文】

色んな歌をうたえて、雨でも楽しかったです。みんなと一緒にできる事は、なんでも楽しいです。

3組 うさぎ

かきしゃえいはとても楽しかったです。とくに楽しかったのはゆうかさラリーです。にゆうかさ山ラリーでとくにたのしかったのはエスパーゲームです。1もんめは7にんぜんいんがせいかいしたけど、2もんめは4人しかあたりませんでした。ぼくはまたやりたいと思います。あと、やまびこそうのごはんもおもしろかったです。

3組 うさぎ

夏季舎営で、まず楽しかった事は肝試しでした。どうしてかと言うと、木の陰に隠れる仕掛けや木を揺らす仕掛けがあって、僕は不気味な感じがして面白かったです。心細かったから、渋谷さんと原さんとで秘密の作戦を立てて、途中で待ち合わせをして、3人で一緒にいきました。秋山隊長がコケに紛れ込んでいて、全然岩だと思って、油断してたから、みんなで飛び上がるほど超びっくりして叫んでしまいました。最後にゴールした人がみんな隠れていて、一斉に飛び出して来ました。それは肝試しにはないと思ってたから驚きました。次の夏季舎営ではまた作戦を立てていきたいです。

4組 くま

ぼくは今回の夏季舎営で組長としての責任を感じることができました。なぜなら、集合の時に、うさぎが並ぶ場所を間ちがえてしまったり、時には自分も間ちがえてしまった時があったので、そこはこれから直して行きたいです。また悪かった所は、うさぎなどが準備などに遅れている時に「おい○○！」のように強く言ってしまったので、そこも直して行きたいです。それから組長だからといっていばってしまったり、組の中でいけない事などをしてしまいました。4組の目標の「自然を大切に楽しく遊ぶ」というめあてについては、みごと達成できたので良かったです。これからは組長のさだめを守って行きたいです。

4組 くま

夏季舎営から帰って来てからも思い出すのは、入笠山の山頂からの景色です。入笠山のふもとにいた時に、僕の前には大きな山や空高くには雲がありました。山頂に着くと、大きな山や空の雲は、僕と同じくらいの高さにありました。僕よりも上には空しかありません。僕の山頂から景色はすべてが小さく見えて、ただただ僕は高いところ来たんだと思いました。あの景色をずっと見ていたかったです。

4組 くま

ぼくが一番心に残ったのは、営火です。スタンプの時には、花咲かじいさんのおじいさん役を、うまくできるかなと心配でしたが、本番では、とてもうまくできて嬉しかったです。宿舎でねる時より、テントでねる方が、圧とう的に気持ち良かったです。登山の時、頂上では、とても空気がうすく、すぐ疲れてしまいました。きもだめしの時、青木副長のオバケが、とてもこわかったです。とてもいい体験ができて、良かったです。

4組 しか

ぼくは、キャンプに行つて営火が一番楽しかったです。今年の4組のスタンプは、最初の、一部分はももたらう、後は全部花咲かじいさんでした。ぼくの組は練習は、たくさんしていないけれど本番はみんなが笑ってくれたので成功したと思いました。来年もたくさんみんなが笑ってくれるスタンプのうまい班になりたいです。

4組 しか

ぼくは、4日をおして、いろんなことをしました。それは、スタンプ、山をのぼって、きもだめし、ナイトハイクをしました。一ばん楽しかったのは、スタンプでした。いろんな組をみて、スタンプはおもしろいなとおもいました。だから、ぼくは、いろんなカブスカウトのかつどうが楽しみです。

4組 うさぎ

行く前は家族と離れるのが寂しかった。でも、行ってみたら自然の中は涼しく、星がきれい、シカも見ることができてよかったです。



ボーイ隊

8月2～5日 夏季隊キャンプ

@野辺山高原五光牧場

BS隊 オットセイ班

今回のキャンプは、班長として最初で最後の大きい行事となりました。このキャンプでは、オットセイ班としては珍しく四人での参加となりました。1日目は、設営を行いました。今まで、キャンプでは、立ちかまどを作ってこなかったのと人数が少ないことが影響して、設営が遅れてしまいました。2日目は、メインで飯盛山に登りました。他にも点検や、夕食がうまくいったので全体的によくできた日だったと思います。3日目は、点検には少し遅れてしまいましたが、ハイクは、班員のペースを見ながら歩けたし、キャンプファイヤーで声を出し、踊ると、楽しむことができました。そして最終日、撤収でしたがこの日は、ちゃんと指示を出したつもり思ったように班員が動いてくれず思ったより長い撤収時間となってしまいました。今回のキャンプは、班長として初めてでしたが、長かったのもありかなり大変でした。指示もすぐに聞いて動いてくれなかったり、雨などの天候によりテンションが上がらなかったり、肉体的にも精神的にもきつかったです。でも、楽しかったこともいっぱいあったし、いい経験になったのかなと思います。

BS隊 オットセイ班

今年のキャンプもいろいろとあったけどとても良いキャンプでした。1日目のテント設営も問題なく張れ夕食はフライパンに前回使用した時の洗剤が残っていたのか魚の味が洗剤の味がして一部食べられませんでした。2日目は登山をしましたがそんなに辛くなく結構涼しく下山するときに雨が降ってきてせっかく集めた薪が濡れてしまいました。夜の肝試しはやはり怖かったです。3日目はハイクで僕は途中から靴擦れになってしまいとても辛かったです。キャンプファイヤーはとても楽しく自分たちのスタンツはとてもよかったと思います。ボーイの舎営は最後ですが、来年もボーイベンチャー ローバーの人達と舎営をしたいです。

BS隊 オットセイ班

今回のキャンプでは、食卓を不安定な所に立てて倒してしまったり、立ちかまどを燃やしてしまったりと自分たちの不注意からなる失敗がとても多かったと思います。基本的なところができていないと安全にキャンプが出来るわけ無いと思うのでそういったミスは絶対に無くさなければならないと思いました。

BS隊 オットセイ班

今回は雨がとても多いキャンプとなりました。僕はこのキャンプ中の雨がすごくイヤだなーと思いました。その理由の一つ目は、山登りの帰りにごはんを作るためのマキを拾っていた時のこと。いきなり大雨になってしまい、マキがほぼぬれてしまい、とても残念でした。二つ目は、ブルーシートのタープの下にいた時に、



滝のように強い雨が降ってきて、僕たちのテントの中まで水が入りそうでした。後で僕が穴を掘ってテントの中に水が入らないようにしました。しかしその後は晴れが続き、営火できました。来年も楽しいキャンプにしたいです。

BS隊 カモメ班

今回のキャンプは、長野県南牧村野辺山で行いました。場所としては、とても自然が豊かで、空気がとてもおいしかった気がします。自分の班は、小学生2人と中1、1人、中2、2人（途中一人抜け）でした。特に、小学生と中学1年は、まだ経験も少なく、未熟なところが多かったですが、サポートしてあげれば、動けるようになったと思います。大雨でビショビショになるなど大変なこともありましたが、いいキャンプになったと思います。

BS隊 カモメ班

僕は、キャンプを途中から参加しましたが、最初はみんな色んなことをやっていると思っていましたが、何かゆっくりしていたのでそこはびっくりしました。その日の夜のご飯のBBQの肉はとてもおいしく、野菜も食べやすく切られていて食べやすかったです。キャンプファイヤーはとても楽しくチェェコリストアがとても面白かったです。次の日の撤収は、とてもみんなで協力し班長にフライ、テントの畳み方を学びました。途中から参加したけど、とても楽しい2日間でした。キャンプの思い出が夏の思い出になりました。

BS隊 トナカイ班

僕はこの夏のキャンプに初めて次長として参加しました。今までは指示をされる側だったのが指示を出す側になって班を引っ張っていくことは、こんなに大変なことなんだと実感しました。今回のキャンプは僕が参加してきたキャンプの中でも最も過酷なものでした。立ちかまどでご飯を作ったり、山登りをしたり、しかも時々雨が降るなどの劣悪な条件の中でしたが、班でまとまって行動できたので、充実したキャンプを送ることができました。体力の消費が激しいとても厳しいキャンプでしたが、次長としての責任感と、ロープ結びや火起こしなどの技能、そして力や体力面などで成長を感じられたよいキャンプとなりました。

BS隊 トナカイ班

8月2日から5日まで長野県の五光牧場でキャンプをした。しかし、このキャンプは困難なものだった。長野といえども暑くキャンプ場までの道のりは大変だった。設営では、雨が降りそうだったため、床となるグランドシートが濡れないよう最後にしく事にした。しかしテントの横のロープを強く張りすぎてしまい、テントを支えるためのポールが上がりず時間を無駄にしまった。立ちかまどでは結びのゆるみや両側の三角形のずれによりゆがんでしまった。しかし、そのゆがみもうまく坂を利用して真すぐにできたので4日間もつことができた。また、その後のウッドクラフトで作った立ちかまど型物置は立ちかまどよりできがよくてコンテストでは1位になった。(2班しかないが) 火起こし

では、なかなか火を起こすことができず、リーダーに手伝ってもらわなければならなかった。しかし、最後には自分たちだけで火起こしができた。キャンプ中に克服できてよかった。次回は今回より早く火を起こせるようにしたい。これらのことは自分たちで回避できたことである。グランドシートのことでは後のことも頭に入れながら張りの強さを考えることや火起こしのことではマッチや新聞紙が湿っていたり、空気の通り道ができていなかったりなど色々な原因が考えられる。また、今回のキャンプでは雨に多く降られたため、自然の営みに対してのそなえもしっかりしておきたい。色々なことが学べた充実したキャンプだった。

BS隊 トナカイ班

僕は初めてキャンプをする時に、たちかまどを作ったので、緊張しました。僕はまえのキャンプで教えてもらった結び方を生かして、たちかまどの一カ所を結びました。結構うまく結べたと思いました、たちかまどが完成したので、たちかまどの上に土を盛る作業でした、すごく重かったです。でもこの作業にやりがいを感じたので良かったです。その次の日は夜になんと、きもだめしだったので、すごく怖かったです。でも何とか最後まで行けたのでうれしかったです。その次の日は山登り、だったので、足の皮がむけてすごく大変でした、でもなんとか山の頂上までできたので、すごくうれしかったです。

BS隊 トナカイ班

僕は、この4日間でたくさんの事を学びました。1日目は、駅から五光牧場へ行く間に荷物が重く感じてしまったので、荷物は軽くコンパクトにしなければいけない事を学びました。2日目は、登山でしたが行く前に靴がアクシデントでびしょ濡れになってしまったので、長ぐつで行ったら靴ズレがおきて皮がむけてしまったので、きつめだった長ぐつでの登山はしないうほうが良いと思いました。3日目には、キャンプファイヤーでやったチェェコリの踊りが一番楽しく、面白かったです。特にベンチャー隊のチェェコリが面白かったです。そして、最後の4日目は徹営に手間取ってしまったので、テントや立ちかまどを片づける時は、すぐに片付けないといけないと思いました。このようなキャンプの結果から、来年はより良いキャンプにしたいと思いました。



7月19日～8月5日 第24回世界スカウトジャンボリー(24WSJ) *7月19-21日 事前訓練キャンプ @アメリカウェストバージニア州 サミットベクテルリザーヴ



BS隊 カモメ班

人生で一回しかない24回世界ジャンボリーはとて有意義に過ごすことができ、大いに生かす点が見つかりました。初めて10隊で集まった顔合わせの時、そこから緊張が始まり、技術的にも他の人より劣ってであろう僕がついていけるのか、と心配になっていました。そこで、世界ジャンボリーが始まるまで、ぼくはスキルアップを計り、ボーイスカウトについてよく調べ学習しました。そうしていくうちに自分にも自信が持てるようになり世界ジャンボリーを迎えることができました。アメリカに行くまでの飛行機は13時間超えと心身ともに疲労が溜まりましたが、その日の夜は高級ホテルに泊まりゆっくりと休めました。そしてキャンピングし海外スカウトの文化やノリを目的の当たり前にして、今まで日本で見えてきたボーイスカウトとは違った世界を見て、初日から驚かされました。また、初日は雨が降り大変で次の日は浸水し、テントの中に池が出来ました。その池を放って置いたままでアクティビティに行きました。初めてアクティビティはカヌーでした。暑さを忘れられる程の水浴びができました。その夜の開会式では音楽に乗り、海外スカウトと飛び跳ねました。体の大きい外国人に負けないように誰よりも高く飛び、誰よりも楽しみました。その後もアクティビティを沢山し、2日目にBMXで怪我をするというアクシデントもありながら、初日に決めた「1日1アクティビティ」を守りながら海外スカウトとパッチの交換、シャツの交換などを楽しみました。何故か日本から持って行った交換品より交換したものの方が多く、嬉しい反面帰りの荷物の重さに悩まされました。2週間のキャンプの間、開会式閉会式を入れてライブが3回あり、アクティビティ、グッズ交換だけの楽しみでなくライブの楽しみも味わえました。また、地球の裏側ブラジルのサイトとの交流もあり、プレゼントを貰ったりお喋りをして親交を深めました。こうして、2週間の日程を終え、閉会式ではみんなが知っているアーティストが2つも来ました。最後にはレーザーショーや花火など、開会式とは違った楽しみ方もでき、目がうるみました。今回学んだこととしては言葉の壁があったとしても気持ちがいちちゃんと伝われば会話は出来ることです。しかしその気持ちだけでは限界があります。だからこそ、今後英語を学習し人に自分が思っていることを伝えられるようになりたいです。最後のワシントンDC観光も今まで映画や写真などで

しか見た事がなかったものを実際にたくさん見て、たくさん興奮しました。こうして僕の世界ジャンボリーは終わり、3週間と長そうで短かった旅が終わりました。今回はスカウトとしての参加でしたが今後ほかの視点、リーダーの視点も経験してみたいです。なのでリーダーとなりそこからたくさんのかんことを吸収できたらいいと思います。最後にこの世界ジャンボリーに送り出してくれた両親に感謝したいです。世界ジャンボリーありがとう。

BS隊 トナカイ班

第24回世界ジャンボリー(WSJ)は、アメリカのウェストバージニア州の中で行われました。テーマは、「Unlock a new world!」です。今回だけではなく、ジャンボリーでは長期間の為、経験を沢山得る事が出来ました。まずは、体の成長。会場は大変広く、徒歩で移動する為、天気、日光、気温などにより沢山の汗を流しました。アクティビティでは運動を沢山し、自由時には、アメリカ人や他国の人とサッカーやバレーボール、水遊びまでしました。筋肉を付けるには、少しずつ筋肉に負担をかける必要がありますが今回の2週間の長いWSJ生活では、毎日の運動を欠かさずしていました。体感ですが少し筋肉が付いたようにも感じます。それは、毎日班でローテーションし協力して作ったご飯や衛生環境が良かったからこそできたことです。毎日、朝早くから起きる習慣が出来ました。序盤では、班長、班員、ルームメイト(先輩)に起こされ、迷惑をかけてしまったが、後半になるにつれ、生活習慣が安定したように感じます。次に、心や人間関係の成長。天狗班では、自分は下から2番目の年下でした。だからと言って先輩の方々は、自分を好きなように使ったり、暴力、悪口を言うどころか、優しくし、いつでも側にいてくれました。まず班の中では、互いを責める行為はありませんでした。カレーを作る時にギスギスしていましたが、班会議をするようになってから、不安は無くなりました。最終日には、もう終わりかとさびしくなるほど仲がよく、協力ができたと思います。海外の人々とは、沢山の交流が出来ました。一つ一つ説明するのは大変だし、思い出せないほど多いので割愛します。食事会からナイトに遊ぶサッカーなど、パッチ交換やNOVUS以外で交流の時間を沢山取ることが出来ました。食事中から、トイレ中、シャワー中まで、英語を駆使して会話をしました。これは、自分の英語の能力の向上と友情まで深めることができる時間です。

自分は、この大切な時間を逃さないように頑張っていました。日にちが経つにつれて、英語の方が話しやすく感じたこともありました。開会・閉会式では、沢山のひと話し、はしゃぎました。そして、怒られたこともありました。しかしそれもまた、ケジメをつけることへの一歩へとつながったら良いと思いました。今回のWSJでは、英語を母国語としない国と会話をすることが少し難しかったことがありました。そこで学んだことは、自分が人と関係を持つ、または仲良くなったり、意思を伝える時にはジャスチャーや絵や文字ではなく、自分の口から出た言葉が大事だと改めて感じました。そして、今回の反省。まず自分は衛生という班の役割を持っていました。しかし最後まで次長の内藤さんに食器を片付けると言われ続けてしまいました。これは、とても迷惑をかけてしまったなと反省しています。2つ目は、面倒な事をなるべく避けてしまいました。こ

れは、年が若いのに、これをしたのは大変失礼だと感じています。WSJでは、自分がされたくないなら人にやるな!や、自分がやるな!という事をしみじみと学べました。最後に、WSJで一番嬉しかったことは、誕生日のお祝いです。ケーキの間には、大量のベジマイトがぬってあって、自分は「まずっ!」と反応しなければいけなかったのですが、もし、このようなしょっぱいケーキだったらどうしようと思い「うまい!」と叫びました。これはとても申し訳なく感じました。サプライズで祝ってくれたこと、これは大切な思い出です。みんなに感謝したいと思いました。感謝しかありません。幸せそして、人の為、自分の為にもなる時間をこれから過ごしたいと思います。世田谷5団のトナカイ班だけでなく、団、隊、友達まで、スカウトの良さから学んだことを伝えて、今後活動していきたいです。

8月18日 班集会@尾山台小学校

BS隊 オットセイ班

今回は、長井くんが行った世界ジャンボリーの写真を見る機会がありました。そこでは、世界中の人たちと沢山のふれあっている様子がよくわかりました。自分も世界ジャンボリーに早く行ってみたいです。また、僕は2級になったので、早く1級になれるように頑張ります。

BS隊 トナカイ班

今回の活動では、次のキャンプの準備などをしました。次のキャンプは、僕が一級を取るために、キャンプ計画をすることになったので、気合いが入りました。場所は奥多摩ということで、東京の大自然を体験できるようなキャンプにしたいです。また、進級チェックの時は、一級の科目がまた少し進んでうれしかったです。この調子で一級スカウトになれるように日々頑張っていきたいと思います。



ベンチャー隊 富士山登山

スカウト活動を始めて早11年。とうとう日本一の山、日本人の誇りである富士を登ってしまった。自分の軽いノリでの発案だったのだが、それを自分で計画し実行し、登頂したのであるから、ピーターの時の自分を思うとスカウトとしての大きな成長を感じる。自分自身登山というものを好んでいるわけでもなく体力に自身があるわけでもないが、やはり日本人として一度は登っておきたいという思いは強くあった。富嶽百景で太宰治が毛嫌った俗世間の人間の俗な考えが自分にはあるようだ。登ったことに対して『やってやったぞ!』という思いはあるが裏を返せば、もう他の山に登りたいという思いなどないというのが本音である。満身創痍といえば聞こえはいいが、燃え尽き症候群にならなければいいと思う。話は変わるが今回の一通りの企画計画は99%自分だけで行なった。正直のところもっと協力して欲しかったし、受け身の姿勢で望んでほしくなかった。普段の隊集会でもそれは見て取れた。助けがほしいなら口で言えばよと言われればそれでおしまいが、もうちょっと自分から動いて貰いたかった。今後の活動案も全て自分が企画したものだ。スカウト活動は一人でやるものではないしこのままではベンチャー隊としてのやる気の問題にも関わってくる。せっかくボーイ隊を卒業し鍛えたスキルを存分に発揮でき、好きなことを出来る場所なのだからもっとみんなで隊を盛り上げていこうじゃないか。何も仕事を押し付けたい訳ではない。やる人がいなければ次の計画も自分がやる。しかし本当にそれでいいのかというのはみんなもわかるはずだ。今回の富士登山でみんなのやる気も少なからず上がったはずなので今後の活動に繋がるこ

8/2~5 ボーイ隊訓練キャンプ奉仕

VS隊

今回、ベンチャー隊としてボーイ隊のキャンプに参加しました。初めてリーダー側というか、運営側に回って活動しましたが、スカウトの飯の準備一つに、そのプログラム一つにどれだけリーダー達が動いているのか身をもって知ることが出来ました。特にそれを思い知ったのは営火や、肝試しでの事でした。今まで楽しむ側でしたが楽しませる側への立場に逆転し、営火のプログラム構成をどうするか、どうしたら最大限盛り上げられるのかをとて苦心しながら考えたときや、独り森の暗闇に潜んで、スカウト達が無事に通過するのを見届けるときなど、リーダーの偉大さを身に沁みて味わいました。今回のキャンプでこれに気付けたのはとても大きな意義のあることだと思います。参加出来て良かったです。

とを祈る。自分の不満をぶちまけた形となってしまっただが、これを読んでくれた人の心に何か響いてくれると自分は光栄だ。

今回はベンチャー隊に入って二回目の登山でしたが、久しぶりの自分の体力の無さに驚きました。自分は頭痛持ちなので高山病が心配で、案の定頭痛がひどい時もあり苦労しました。しかし、みんなで登ってる時の天気や景色は日常では到底見ることは叶わない素晴らしいものだったので良かったです。唯一の心残りは、ご来光を見ることが出来なかったことです。

今回、僕達は日本最高の山、富士山に登りました。日本で一番高いということで、一筋縄では行かないだろうと思っていましたが、やはり、とても登るのに苦労しました。8号目では、高山病になったり、寒くて震えが止まらなかったりと色々ありましたが、無事に頂上まで登りきることが出来たので、満足です。しかし、ご来光が天気の影響で霧がかかってしまい見れなかったため、その点は残念でしたが、次いつかリベンジした時に見れたらいいなと思います。今回、この企画をするにあたって、たくさんの人にご協力してもらったこと、感謝します。



ローバー隊

ローバー隊:

「24WSJ感想」

4年前のボーイ隊のときに続き、二度目となった第24回世界スカウトジャンボリー（24WSJ）。今回は国際サービスチーム（IST）、つまり運営側としての参加であり、僕は緊張感と共にジャンボリーに臨んだ。期間中、インフォメーションセンターで働いた。日替わりのイベントや会場についての情報、バッジの交換場所などを手探りで調べる毎日。人との出会いが多く、臨機応変な対応も必要な骨の折れる仕事であった。

しかし、そんな仕事の大変さを補って余りある興奮が、ジャンボリーには用意されている。

世界最長のジップラインをはじめとした、破格のアドベンチャーの数々。あるいは、会場移動用のバス、快適な通信環境、時計型コンピュータと専用アプリによる円滑なシステム等々、普段のキャンプとは全く異なる整備されたインフラ。そしてIST用のサブキャンプはもちろん素晴らしく、二段ベッド付きの天井高なテント、バイキング形式の食事、シネマ、ジム、サウナ、カフェ、音楽系クラブハウスなど、豪華なアメニティーや娯楽施設が揃っていた。

僕は仕事の休憩中にいくつか回ってみた。

よく「自由の国アメリカ」などと言うが、百聞は一見に如かず。出発前の張り詰めた僕の心を、アメリカの

「自由」は一瞬にしてほぐしてくれた。ボーイスカウト活動として参加していることを忘れてしまいそうになるほどの「自由」が、アメリカのジャンボリーにはあったのだ。

だが、その「自由」は日本でイメージされがちな「奔放」、つまりその場のノリのようなものではなかった。確かな文化・歴史を背景に持った、ある種の気高すら感じさせる理念としての「自由」であった。

他方、我らが日本ISTチームからも、多くの刺激を受け取った。

ISTでは70名の日本人スカウトたちと衣食住を共にしたが、同じ日本人であってもそこには多様性があったのだ。

熊本の農家から来たスカウトがいるかと思えば、原宿のミュージシャンもいる。チーム一人一人が異なるバックグラウンドを持っていて、今までに類を見ない個性的なチームだったのだ。

アメリカに来て、日本のスカウトたちの多様性を知る。それも一興、24WSJがもたらした再発見であった。

他にも様々な経験が、筆舌に尽くしがたい刺激が、ジャンボリーには山のようにあった。運営側・奉仕側としての今回の参加であったが、僕自身も大変有意義な経験をする事ができたと思う。

改めて、今回の派遣にご尽力賜った5団や日本連盟関係者の皆様に、深く感謝いたします。責任と喜びと自由と多様性を味わわせていただきました。ありがとうございました。

会議報告

団会議・団委員会 8月17日(土)20:00~ 奥沢地区会館第1会議室

- ★ 各隊報告
- ★ カントリーデー(9/8)について
ゴミ拾い終了後、RS隊による動画映写会(上野毛地区会館大会議室)
- ★ 尾山台フェスティバル:19日(土)のみの開催(雨天の場合は20日に順延)
- ★ 育成会バザー:1月に九品仏の餅つきが行われなため、10月27日に行われる「九品仏フリーマーケット」(九品仏自治会主催)に参加したい
- ★ 5団HPから「さくら」を見る時の変更事項について
HPについてはRS隊長が改良中
- ★ 日本連盟より各隊リーダーに「中途退団者」に関する調査依頼
→ 各隊隊長が記入して9/8(カントリーデー)に横山団委員に提出

育成会役員会
8月24日 カブ隊リーダー会議に参加

会議予定

9月8日(日) 育成会役員会
9月28日(土) 団委員会・団会議 20:00~ 奥沢地区会館大会議室

育成会より

◆尾山台フェスティバル

2019年10月19日(土)

※今年度から1日のみの開催！ 雨天の場合10月20日(日)に順延

【時間】

祭り開催時間 12:00～19:30 道路通行止め 10:00～21:00

準備 10:00～12:00 片付け 19:30～21:00

【内容】

5団は

①ブース「火起こし体験」「寝袋体験」「ロープ結び体験」をカブ隊と共に参加。

②ボーイ隊と共に、交通整理をする。

* 5団の従事時間は、祭り開催時間とは異なる予定です。

◆九品仏フリーマーケット

2019年10月27日(日)

【時間】 10:00～14:00

* 2020年1月の九品仏バザーは、九品仏地区会館 改修工事の為、実施無し。それに変わる行事として、当バザーに参加予定。

出店に際し、保護者の皆様にはお手伝いをお願いいたします。

各ご家庭から不用品の提供の準備をお願いいたします。

以上、各々詳細は育成会からの一斉連絡にてお知らせします。

ご確認いただき、ご協力をお願いいたします。

